

「バプテスマ」

ギリシア語で「洗礼」を意味し、口語訳聖書ではこの語が用いられ、洗礼者ヨハネも「バプテスマのヨハネ」と記されていました。新共同訳と次に出た聖書協会共同訳では「洗礼」の横に「バプテスマ」とルビがありますが、これはバプテスト教会など、教派によって定められた読み方があるためです。聖公会では「せんれい」と読みます。また、教派の中には「洗礼」ではなく「浸礼」という訳語にこだわりをもっているところもあります。原語の動詞バプティゾーは「沈める」を意味し、ヨルダン川でのイエスの洗礼も全身を沈める浸礼であったと考えられています。